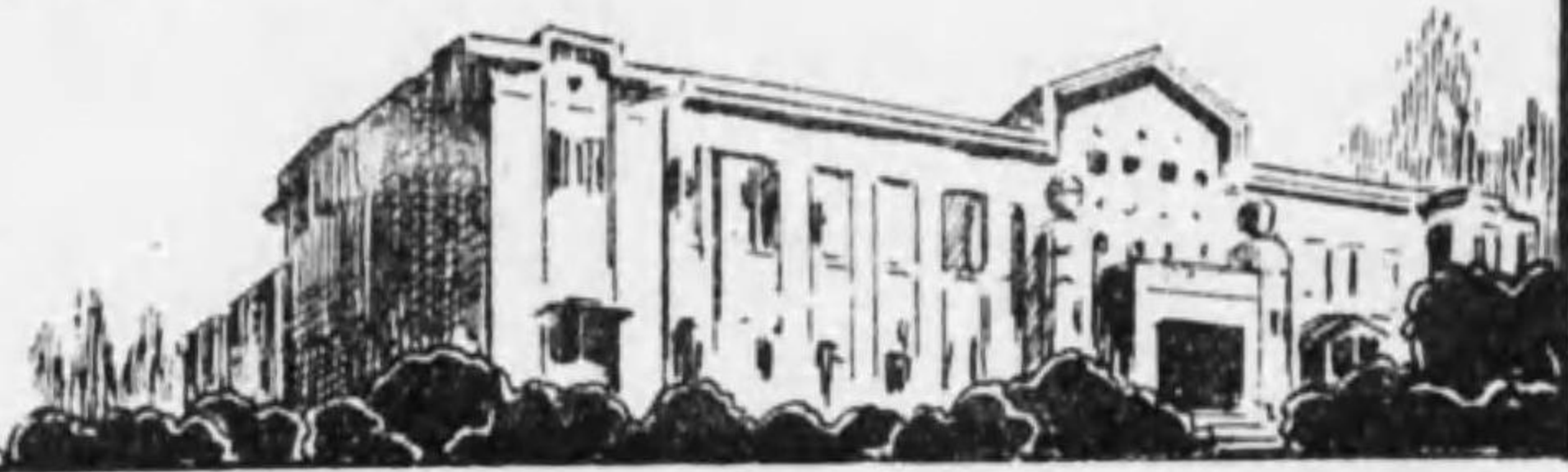




報々館書園屋古市立市

行發日五十月九年二和明

號五十四第



神經質の子供の讀物は

- ◇一方に健康の境があり、一方に病氣の境があり、其中間に位するものが神經衰弱で、もつと六ヶ敷いへば、神經衰弱とは調和的精神能力の障礙に基く異常のことで、その障礙がまだ感情や知能に著しいといふ程でもなく、又判斷や推理を誤らない内のもをいふので、若しそれが判斷や推理を誤るやうになれば、是はもうテッキリ精神病者即ち氣違ひの中間入となるのだ。
- ◇精神病學の大家グリーングルと云ふ人が、神經素質といふことを言出して、其特性として、第一、物を疑ひ、第二、物に觸れて苦悶し、第三、物に處して輕率であり、移り氣多く、第四には自分を信用せぬかと思ふか或る場合には反對にそれが非常に強く、こはいはご自己主義一てん張りとなる、第五、それが長うじて遂に亂暴ものとなるのだといつてゐる。
- ◇そういうふ神經質の子供の讀物は非常に注意しなければならぬ。普通の子供なら好きな本を讀んでも大した事は無いが、それが神經質の子供になると暗示性が甚強く、又時に本にあるごんなことでも皆よい事として信用しそれを真似ることがある、實に危険至極です。それに少し大きい兒童になると、性に關する書物の刺戟で、悪い性慾上の習癖を有たしたり、又價值も無いことを強りに信用して彼を失望目案に陥らしむるなど、數へ来れば其弊の及ぼすところが中々重且つ大である。
- ◇都會には特に神經質の子供が少くないから、之を取扱ふ教師たるものは「亦難い哉」の嘆が頻發するであらうことを思はれて、同情に堪へぬ。(晩翠)

内 容

- ◇八月館内閱覽統計表
- ◇八月館外閱覽統計表
- ◇八月入館兒童學校別調
- ◇八月入館兒童學年別調
- ◇八月青年巡回文庫類別調
- ◇八月青年巡回文庫圖體別調
- ◇八月末日現在藏書冊數調
- ◇八月中最多く新刊書調
- ◇八月中寄贈書

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

始



昭和二年八月館内閱覽統計表
 閱覽人員最高最低
 最高 廿四日 水曜日 晴 七一人
 最低 三日 水曜日 晴 五〇五人

職業別	閱覽人員		計	一日平均	百分比
	男	女			
總計	二九六	二二三	五一九	二〇	一〇〇
第一類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第二類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第三類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第四類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第五類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第六類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第七類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第八類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第九類	一〇	一〇	二〇	〇	〇

昭和二年八月館外閱覽統計表
 館外圖書携出閱覽人員別

職業別	閱覽人員		計	一日平均	百分比
	男	女			
總計	二〇一	一八八	三八九	一五	一〇〇
第一類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第二類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第三類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第四類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第五類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第六類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第七類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第八類	一〇	一〇	二〇	〇	〇
第九類	一〇	一〇	二〇	〇	〇

昭和二年八月入館兒童學校別圖

入館兒童數	小學校名	入館兒童數	小學校名
一八	日野	一	古渡
一六	熱田	一	池田
一三	前高	一	古渡
一三	池田	一	古渡
一三	池田	一	古渡
一三	池田	一	古渡
一三	池田	一	古渡
一三	池田	一	古渡
一三	池田	一	古渡
一三	池田	一	古渡

昭和二年八月入館兒童學年別圖

學年	男	女	計
入館兒童數	二〇三	二〇三	四〇六
尋常科四學年	一七九	一七九	三五八
六學年	一七九	一七九	三五八
三學年	一五八	一五八	三一六
五學年	一三二	一三二	二六四
二學年	九八	九八	一九六
一學年	八五	八五	一七〇
高等科一學年	四〇	四〇	八〇
二學年	二五	二五	五〇
未就學の者	二一	二一	四二
中學校一學年	二〇	二〇	四〇
二學年	一一	一一	二二
學校外の者	五	五	一〇
中學校三學年	五	五	一〇
女學校三學年	五	五	一〇
計	三三三	三三三	六六六

昭和二年青年巡回文庫類別圖

類別	冊數	回附冊數	回附冊數	回附冊數
總計	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六
一哲學、宗教	一〇	一〇	一〇	一〇
二文學、教育	一〇	一〇	一〇	一〇
三文學、語學	一〇	一〇	一〇	一〇
四歴史、地誌	一〇	一〇	一〇	一〇
五法則、經濟	一〇	一〇	一〇	一〇
六理學、社會	一〇	一〇	一〇	一〇
七工學、兵事	一〇	一〇	一〇	一〇
八美術、諸藝	一〇	一〇	一〇	一〇
九産業、交通	一〇	一〇	一〇	一〇

昭和二年青年巡回文庫團體別圖

團體名	冊數	回附冊數	回附冊數
小針尋常小學校	一〇	一〇	一〇
研屋町說教場	一〇	一〇	一〇
批杷島聯區青年團	一〇	一〇	一〇
四洲端南部青年團	一〇	一〇	一〇
榮生町青年團	一〇	一〇	一〇
東新青年團	一〇	一〇	一〇
常盤青年團	一〇	一〇	一〇
伊勢山町青年團	一〇	一〇	一〇
廣路青年團	一〇	一〇	一〇
四境町青年團	一〇	一〇	一〇



一言草
 一、本報にて啓められたる日本品
 一、一國の人種も一人の物種から
 一、進行を遂げば其の日に進化する
 一、一國を愛するものは一國に愛く
 一、其の愛を愛するものは一國に愛く

昭和二年本館藏書冊數調

分類	青年巡回文庫藏書冊數		計
	兒童藏書冊數	和漢書洋書	
總計	計加	計加	計加
記	三	三	六
哲學、宗教	四、八九	七、三三	一二、二二
教育	一、〇〇	四、〇七	五、〇七
文學、語學	一、四六	一、四七	二、九三
歷史、地誌	八、六三	六、〇〇	一四、六三
法、經濟、統計、社會、家政	五、八三	一、九〇	七、七三
理學、醫學	三、九〇	一、六八	五、五八
工學、兵事	一、六九	一、七〇	三、三九
美術、諸藝	一、七〇	一、七〇	三、四〇
農業、交通、通信	一、六三	一、七〇	三、三三
計	計加	計加	計加
青年巡回文庫冊數	三、〇三	三、〇〇	六、〇三
兒童讀物冊數	一、〇一	一、〇一	二、〇二
其他	計加	計加	計加
特種本冊數	三、〇三	三、〇三	六、〇六
總計	計加	計加	計加
	六、〇六	六、〇六	一二、一三

昭和二年八月中に新刊圖書

書名	著者名	種類	書號	閱覽回数
官私高校専校英語問題と講義	鈴木熊太郎著	三九三—一六七	四四	
八〇校入學試験	鈴木熊太郎著	三九三—一六七	四四	
明治大正文學全集 第一集	尾崎紅葉編	三二—一七	四二	
現代大正文學全集 第四卷 平凡社編	春田堂編	三三—一五九	四〇	
物語語學第一集	梅田寛編	三〇四—三五	三五	
現代日本文學全集 第二集	有島武郎編	三二—一六	三一	
明治大正文學全集 第三集	永井荷風編	三二—一七	二八	
神話傳説大系 第十六卷	松村武雄著	一五—一九	二四	
近全國正教員檢定試験系統的問題集	小學教員受驗準備講習會編	二五—二四	二四	
日本エッセイ叢書 第八八	人文會編	〇三—五三	二二	
世界文學全集 一三	佛、グイクトル、ユルゴ著	三五—九二	一一	
關東の山々	横井春野著	四八—八九	一七	
西洋名彫刻 古代篇	矢代幸雄著	八三—七一	一六	
普通文官合格する備學受驗法	高橋悠久著	五〇—一六	一六	

昭和二年八月中寄贈圖書

北海道警察區地圖	北海道警察部
横濱に就て	中島清一氏
大正外交十五年史	阪谷俊作氏
歌集おしかげ	福井武治氏

昭和二年九月十三日停刊
昭和二年九月十日發行

發行所 名古屋市立名古屋圖書館
編輯人 國口千代松

名古屋市立名古屋圖書館
編輯人 國口千代松

名古屋市立名古屋圖書館
編輯人 國口千代松

終

